

企画展

追悼・山内静夫

# 松竹大船撮影所物語



鎌倉が愛した、映画人がいた。

*In Memory of  
Shizuo Yamaneuchi*

企画展観覧料：一般200円(40円) / 小・中学生100円(70円) \* (内は20名以上の団体料金)

2022.3.18 金 ↓ 6.12 日

GFUNA STUDIOS

鎌倉市川喜多映画記念館

# 鎌倉にその足跡を刻む、 松竹大船撮影所の 名プロデューサーを偲ぶ――

鎌倉文士として知られる里見諄の四男・山内静夫（1925－2021）は1948年に松竹大船撮影所に入社、プロデューサーとして、小津安二郎監督の『早春』（1956）から遺作『秋刀魚の味』（1962）まで6作品を手がけました。北鎌倉へ転居し文士たちと交流をもつようになった小津は、とりわけ里見と公私にわたって親しく付き合い、その傍らにはいつも山内の姿があったといいます。小津亡き後も、山内は数々の映画の製作に携わりながら、同時に小津が世界的な巨匠として名を馳せていく過程で多大な貢献を果たしました。松竹退社後も鎌倉の文化芸術振興に尽力した山内は、まさに鎌倉に生き、鎌倉を愛した文化人でした。

川喜多映画記念館では、松竹映画100年を記念した企画展「昭和を彩る女優たち 松竹大船撮影所物語」を開催しましたが、2021年夏に96歳の生涯を終えた山内静夫氏を偲び、改めて「松竹大船撮影所」の歩みを辿る企画展を実施します。鎌倉で育まれた映画文化の豊かな営みをお楽しみください。



展示協力(敬称略) 鎌倉文学館、甲本シヅ、国立映画アーカイブ、松竹株式会社、松本行央

## 展示解説／上映解説

展示の見どころ／上映作品について、学芸員が映像資料室で解説します。  
[要企画展観覧料]  
展示解説 3.19(土)／4.16(土)／5.28(土) 各日14:00～(約40分)  
上映解説 4.24(日)／5.22(日)／6.12(日) 各日午後の上映終了後(約40分)

## 里見諄×小津安二郎×山内静夫

監督とプロデューサーとして公私にわたる交流を結んだ小津と山内。さらに里見諄も携った2作品を紹介。

### ① 早春 \*デジタル修復版

4.5(火)・10(日) 10:30  
4.9(土) **特別上映** 13:30  
4.6(水)・8(金) 14:00



山内が初めてプロデュースした小津映画。前作『東京物語』から一転、若いサラリーマン世代を中心に倦怠期を迎えた夫婦を描き、小津にとって新境地を開いた。製作の過程からは、里見諄と小津の交流も垣間見える。

1956年／白黒／144分／DCP  
監督・脚本：小津安二郎 脚本：野田高梧  
出演：淡島千景、池部良、岸恵子、高橋貞二、浦辺粂子

### ② 秋日和 \*デジタル修復版

4.8(金)・9(土) 10:30  
4.5(火)・7(木)・10(日) 14:00



娘の結婚と母の再婚を巡って周囲に波風が立つ様子をユーモラスに描いた一作。『晩春』では娘役だった原節子が、母を演じている。里見諄と小津・野田が大筋を練った上で、それぞれが小説と脚本を執筆する手法が進められた。

1960年／カラー／128分／DCP  
監督・脚本：小津安二郎 脚本：野田高梧 原作：里見諄  
出演：原節子、司葉子、岡田茉莉子、佐田啓二、佐分利信

## 同世代の監督たち

1960年前後に相次いで監督デビューを果たし、松竹に新しい波をもたらした監督たちを紹介。

### ③ 青春残酷物語 \*デジタル修復版

4.19(火) 10:30  
4.20(水)・22(金)・24(日) 14:00



松竹自ら“新世代の旗手”として売り出した大島渚の長編第2作。当時の怒れる若者の姿を大胆に描き出し、日本映画界に新たな時代の幕開けを告げた。大島の目指す表現を体現した、川又昂によるカメラも大胆に躍動。

1960年／カラー／96分／DCP  
監督：大島渚  
出演：桑野ゆき子、川津祐介、久我美子、浜村純、渡辺道雄

### ④ 夜叉ヶ池 \*デジタルリマスター版

4.24(日) 10:30  
4.19(火)・21(木)・23(土) 14:00



昨年、42年ぶりにデジタルリマスターとして甦った幻の超大作。歌舞伎の女形として一世を風靡していた坂東玉三郎が二役を演じ、竜神伝説を題材にした鏡花文学の幻想性を、比類なき美しさと唯一無二の存在感で魅せる。

1979年／カラー／124分／DCP  
監督：篠田正浩 原作：泉鏡花  
出演：坂東玉三郎、加藤剛、山崎努、丹阿弥谷津子、唐十郎

## 野村芳太郎の仕事

日本映画の礎を作った映画監督・野村芳亭を父にもち、戦後の松竹を支えた功労者としての功績を回顧。

### ⑤ キネマの天地

5.17(火) 10:30  
5.18(水)・20(金)・22(日) 14:00



1930年代前半の松竹蒲田撮影所を舞台に、映画作りに情熱を注ぐ若き映画人たちを描いた群像劇。実在の監督や女優をモデルに、寅さんファミリーも揃って登場する松竹大船撮影所50周年記念作品。野村は製作を務めた。

1986年／カラー／135分／35mm  
監督：山田洋次 製作：野村芳太郎  
脚本：渡美清、有森也実、中井貴一、倍賞千恵子、岸部一徳、笠智衆

### ⑥ 砂の器 \*デジタル修復版

5.20(金) 10:30  
5.21(土) **特別上映** 13:30  
5.17(火)・19(木) 14:00



数多くの松本清張作品を映画化し、松竹の人気路線を確立させた野村芳太郎監督の集大成といえる一作。日本各地の四季の描写、劇的な演奏場面を盛り込みつつ、社会的弱者ゆえの犯罪を哀感たっぷりな名作。

1974年／カラー／143分／DCP  
監督：野村芳太郎 原作：松本清張  
脚本：橋本忍、山田洋次 撮影：川又昂 出演：丹波哲郎、加藤剛、森田健作、島田陽子、山口果林、加藤嘉

## 今に生きる作家主義(松竹ブロードキャスティング作品)

松竹伝統の《作家主義》×《俳優発掘》を掲げ、「監督のやりたいこと」を最大限尊重する映画製作プロジェクトから3作品を紹介。

### ⑦ 東京ウィンドオーケストラ

5.31(火) 10:30  
6.2(木)・4(土) 14:00



新進気鋭の坂下雄一郎監督が、ワークショップで出会ったメンバーと完成させた作品。公演の依頼を受けて屋久島までやってきたアマチュアオーケストラ楽団だが、担当職員が有名な楽団と取り違えていたことが発覚し…。

2017年／カラー／75分／DCP  
監督・脚本：坂下雄一郎  
出演：中西美帆、小市慢太郎、松木大輔、星野惠亮、及川莉乃、水野小論、松本行央

### ⑧ 恋人たち



6.3(金) 10:30  
5.31(火)・6.5(日) 14:00



国際的にも高い評価を得ている橋口亮輔監督が、3人の新人俳優から着想し、3組の恋人たちがもがき苦しみながらも人生を生きていく様を描く。キネマ旬報ベスト・テン第1位ほか、多くの賞を受賞した。

2015年／カラー／140分／DCP  
監督・脚本：橋口亮輔  
出演：篠原篤、成嶋瞳子、池田良、光石研、安藤玉恵、リリー・フランキー

### ⑨ 滝を見にいく

6.4(土) 10:30  
6.1(水)・3(金) 14:00



何気ない日常を独自の視点で描く沖田修一監督が、「40歳以上の女性、経験不問」のオーディションで選ばれた7人の女性と作り上げた一作。滝を見る観光ツアーでガイドとはぐれ、山に取り残されてしまった参加者たちは…。

2014年／カラー／88分／DCP  
監督・脚本：沖田修一  
出演：根岸遙子、安澤千草、荻野百合子、桐原三枝、川田久美子、徳納敬子、渡辺道子

## プロデューサー・山内静夫

小津作品以外から山内が製作を担当した代表的な2作品を紹介。(協力:鎌倉同人会)

### ⑩ 渦

6.7(火) 10:30  
6.8(水)・10(金)・12(日) 14:00



洋画配給会社を営む夫と、孤児の面倒を見る妻。冷えきった関係の夫婦を中心に、周囲の人間模様が見える。山内が多岐にわたる作品で組んだ番匠義彰監督によるメロドラマで、当時の映画業界の雰囲気も味わえる一作。

1961年／白黒／90分／35mm  
監督：番匠義彰 原作：井上靖  
出演：佐田啓二、岡田茉莉子、若下志麻、佐分利信、仲谷昇

### ⑪ 利休

\*英語字幕付き上映

6.12(日) 10:30  
6.7(火)・9(木)・11(土) 14:00



映画、華道、舞台美術など多彩な芸術活動を展開する勅使河原宏が久々に発表した長編劇映画。ワダエミ(衣裳デザイン)、赤瀬川原平(共同脚本)、武満徹(音楽)といったそうそうたる顔ぶれで、利休と秀吉の愛情と葛藤を描く。

1989年／カラー／135分／35mm  
監督：勅使河原宏 原作：野上彌生子  
出演：三國連太郎、山崎努、三田佳子、井川比佐志、田村亮、中村吉右衛門

## 《鎌倉と映画》 散策ツアー



鎌倉文士・里見諄を父に持つ山内静夫は、その生涯

のほとんどを鎌倉の地で送りました。山内・里見ゆかりの場所を中心に、映画やテレビドラマと関連する場所を巡ります。

① 5.11(水) ② 5.14(土)  
各日10:00～12:30

参加費：無料  
(別途、見学先の拝観料がかかります。)  
定員：各回10名(先着順)  
申込方法：4.9(土)9時より  
お電話にて承ります。

鎌倉市川喜多映画記念館  
0467-23-2500

**特別上映**  
4.9(土)  
13:30～  
『早春』上映＋トークイベント  
「映画に吹く里見諄と鎌倉の風」  
ゲスト：宮本明子さん(同志社女子大学准教授)

里見諄と小津安二郎は『彼岸花』『秋日和』の2作において、原作者と監督・脚本家として共同作業を行いました。山内静夫が初めて製作を手がけた小津作品『早春』でも、クレジットされていないものの、小津と野田高梧によるシナリオに里見が修正や提案を加えた形跡が残っています。トークイベントでは、気鋭の小津研究者である宮本明子さんに、資料の分析を通して発見した里見と小津の多様な交流から、鎌倉で培われた小津作品の味わいをお話しいたします。

料金：一般1,600円、小・中学生800円／チケット発売日：3.12(土)

**特別上映**  
5.21(土)  
13:30～  
『砂の器』上映＋トークイベント  
「監督・野村芳太郎と撮影監督・川又昂」  
ゲスト：野村芳樹さん(プロデューサー)、羽方義昌さん(撮影監督)  
樋口尚文さん(映画監督、映画評論家)

戦後の松竹にあって、重厚な社会派作品から芸文映画、軽妙な喜劇まで幅広いジャンルを手がけた監督・野村芳太郎。抜群の安定感を誇り会社からも全幅の信頼を置かれていた野村と、多くの作品でコンビを組んだのが川又昂です。川又は戦後、小津映画の撮影監督・厚田雄春のもとで修業を積むと、大島渚ら若手監督の映画作りを支え、野村とともに松竹の中心的存在となりました。トークイベントでは、二人の集大成である『砂の器』を中心に、二人の仕事についてお話しいたします。

料金：一般1,600円、小・中学生800円／チケット発売日：4.9(土)

企画展観覧 一般 200(140)円 小・中学生 100(70)円  
\*( )内は20名以上の団体料金

\*4月1日より、鎌倉市(市内に住所を有する方)は観覧料が無料となります。入館の際に住所が確認可能な証明書(運転免許証、国民健康保険証等)をご提示ください。

映画鑑賞 一般 1,000円 小・中学生 500円(展示観覧料を含む)

特別上映 一般 1,600円 小・中学生 800円(展示観覧料を含む)

4月の上映作品①～④ 3月12日(土)  
チケット発売開始日 5月の上映作品⑤～⑨ 4月 9日(土)  
6月の上映作品⑩～⑪ 5月14日(土)

\*作品により映像・音声が必要しも良好でないものがあります。  
場合によっては上映素材・作品の変更があることをご了承ください。

# 上映スケジュール

★ゲスト:佐藤快磨監督

3月	次世代シネマセレクション チケット発売日:3月1日(火)	26 土	10:30 泣く子はいねえが(108分)	14:00 泣く子はいねえが(108分)+アフタートーク★
		27 日	10:30 泣く子はいねえが(108分)	14:00 泣く子はいねえが(108分)
4月	関連上映 里見弴×小津安二郎×山内静夫 チケット発売日:3月12日(土)	5 火	10:30 早春(144分)	14:00 秋日和(128分)
		6 水		14:00 早春(144分)
		7 木		14:00 秋日和(128分)
		8 金	10:30 秋日和(128分)	14:00 早春(144分)
		9 土	10:30 秋日和(128分)	13:30 特別上映 早春(144分)+トークイベント
		10 日	10:30 早春(144分)	14:00 秋日和(128分)
4月	関連上映 同世代の監督たち チケット発売日:3月12日(土)	19 火	10:30 青春残酷物語(96分)	14:00 夜叉ヶ池(124分)
		20 水		14:00 青春残酷物語(96分)
		21 木	ゲスト:中橋嘉久さん(元松竹撮影監督) 本作で撮影助手を務めた中橋さんに撮影時のエピソード をお話しいただきます。	14:00 夜叉ヶ池(124分)
		22 金		14:00 青春残酷物語(96分)
		23 土		14:00 夜叉ヶ池(124分)+アフタートーク
		24 日	10:30 夜叉ヶ池(124分)	14:00 青春残酷物語(96分)+上映解説
		26 火	10:30 コレクティブ 国家の嘘(109分)	14:00 アメリカン・ユートピア(107分)
		27 水		12:00 ボストン市庁舎(274分)*途中休憩あり
5月	シネマウィーク チケット発売日:3月12日(土) 一般:1200円/小・中学生:600円 *「ボストン市庁舎」のみ 一般:1500円/小・中学生:750円	28 木	10:30 ファーザー(97分)	13:30 ONODA 一万夜を越えて(174分)
		29 金・祝	10:30 アメリカン・ユートピア(107分)	14:00 ファーザー(97分)
		30 土		12:00 ボストン市庁舎(274分)*途中休憩あり
		1 日	10:00 ONODA 一万夜を越えて(174分)	14:00 コレクティブ 国家の嘘(109分)
		2 月	10:30 ファーザー(97分)	14:00 アメリカン・ユートピア(107分)
		3 火・祝		12:00 ボストン市庁舎(274分)*途中休憩あり
		4 水・祝	10:30 コレクティブ 国家の嘘(109分)	14:00 ファーザー(97分)
		5 木・祝	10:30 コレクティブ 国家の嘘(109分)	13:30 ONODA 一万夜を越えて(174分)
		6 金		12:00 ボストン市庁舎(274分)*途中休憩あり
		7 土	10:00 ONODA 一万夜を越えて(174分)	14:00 アメリカン・ユートピア(107分)
5月	関連上映 野村芳太郎の仕事 チケット発売日:4月9日(土)	17 火	10:30 キネマの天地(135分)	14:00 砂の器(143分)
		18 水		14:00 キネマの天地(135分)
		19 木		14:00 砂の器(143分)
		20 金	10:30 砂の器(143分)	14:00 キネマの天地(135分)
		21 土		13:30 特別上映 砂の器(143分)+トークイベント
		22 日		14:00 キネマの天地(135分)+上映解説
5月	関連上映 今に生きる作家主義 (松竹ブロードキャスティング作品) チケット発売日:4月9日(土)	31 火	10:30 東京ウィンドオーケストラ(75分)	14:00 恋人たち(140分)
		1 水		14:00 滝を見にいく(88分)
		2 木		14:00 東京ウィンドオーケストラ(75分)
		3 金	10:30 恋人たち(140分)	14:00 滝を見にいく(88分)
		4 土	10:30 滝を見にいく(88分)	14:00 東京ウィンドオーケストラ(75分)
		5 日		14:00 恋人たち(140分)
6月	関連上映 プロデューサー・山内静夫 チケット発売日:5月14日(土)	7 火	10:30 渦(90分)	14:00 利休(135分)
		8 水		14:00 渦(90分)
		9 木		14:00 利休(135分)
		10 金		14:00 渦(90分)
		11 土		14:00 利休(135分)
		12 日	10:30 利休(135分)	14:00 渦(90分)+上映解説



## 旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧いただけます。

一般公開:4.2(土)、3(日)※無料

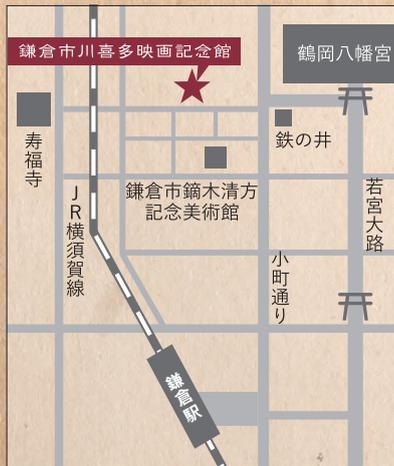
特別公開:5.3(火・祝)~5(木・祝)※要入館料

★いずれの公開も天候、新型コロナウイルス感染防止のため中止となる場合があります。

## 2022年度友の会 会員募集中 年会費:2500円

- ★映画チケットの電話予約が可能
- ★1000円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント
- ★展覧会観覧料がいつでも無料
- ★展覧会やイベントのチラシをご自宅に郵送
- ★会員向けの上映会やイベントを開催

記念館窓口、郵便振替でお申込みを受け付けています。詳しくはお問合せください。



## 鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間:9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館:月曜日(3月21日、5月2日は開館)、3月22日(火)

- 鎌倉駅より徒歩8分
- 駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催:川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合わせください。



<https://kamakura-kawakita.org>